

改定千代田区商工振興基本計画（素案）に関する意見と回答及び修正箇所

	分類	意見内容	意見に対する回答案及び修正内容
事業者	基本理念	さまざまな魅力があり、ビジネスチャンスあふれるまちに沿った千代田区のキャッチコピーに「アントレプレナー(起業家)のまち 千代田」あるいは「チャレンジするまち 千代田」を考案しました。	今回の計画改定については、学識経験者や商工団体・事業者で構成する検討会議を設置し、検討を重ねてきました。区のキャッチコピーについては検討会議で議論がないことと計画の体系にある基本施策との兼ね合いからご意見との1つとして承ります。
	基本目標	新しいビジネスの創造とあるが、誰が考え、実行し、成功させ、千代田区にリターンさせるのが重要で、環境と人づくりが大切。良き指導者と支援サポートの仕組みが必要不可欠です。	計画の主体は事業者・区民・行政であり、相互に関連した取り組みを目指しています。様々な施策に取り組む中で主体的な事業活動につながる環境が構築されていくよう支援していきます。
	基本施策(起業支援の充実)	千代田ビジネス起業塾終了後の受講生への開業・起業支援の継続がなされなければならないと考えます。	ご意見のとおりです。計画改定検討会議の議論の中でも起業後の支援の必要性について議論されました。起業後の支援について取り組みを検討していきます。
	事業内容(起業家サポート体制の充実)	新たな組織(区の職員と起業家と経営実務経験者とコンサルタントなどの集合体)をつくり、中・長期のプログラムを企画立案し運営していくことが重要です。	商工振興施策を推進するための会議体を設置します。設置にあたっては、計画改定検討会議の委員を中心として計画の進捗状況と事業への取り組みを検討していきます。
		東京商工会議所千代田支部の構成組織内に新たに「開業・起業・第2創業支援分科会」を設けて千代田区を魅力あるまちの創造に尽力しようとする志と情熱とボランティア精神の組織体(企業家と経営実務のあるコンサルタント)で中・長期的視野で計画を進展させるべきと思います。スタッフは能力のみならず「ビジネスチャンスあふれるまち」づくりに使命感をもち、熱意と情熱があることが重要です。	いただいたご意見を東京商工会議所千代田支部へ通知いたします。
		千代田ビジネス起業塾受講生や千代田ビジネス大賞の入賞者を対象に、経営実務経験豊富な千代田ビジネス大賞受賞企業の経営者を核とした起業アドバイザー制度を設け、定期的な相談、指導等の場を設けサポートしていくことが必要です。	起業家サポート体制を整えていく上での参考とさせていただきます。
	事業内容(起業支援施設の充実)	東京電機大学の北千住に移転後の跡地利用や区内の閉校校舎、または公的施設に余裕あるスペースを起業支援施設として拡充を図るべきです。	区内には民間施設を含め複数の起業支援施設があります。起業支援策の一つとして施設整備の充実に向けて取り組んでまいります。
事業内容(区内主要産業の第二創業支援)	第二創業を支援していくことは本来的な考えである。自社の企業改革と経営者の自己改革をしていく必要があり、セミナーや相談会を開き、インセンティブを与えてサポートする必要があります。	社会情勢に即した事業活動の新たな展開に向けた支援は区内の地場産業であった印刷関連業を中心として喫緊の課題であります。施策を検討する上での参考とさせていただきます。	
区民	基本施策と事業計画	第5章「基本施策と事業計画」は事業内容が総花的に羅列されていて、事業相互の関連や社会情勢の認識における位置づけがあいまいです。また、各事業内容が、目先のとりあえず出来そうなことの範囲に留まり、例示されている事業の実行方法とその期待効果の程度のイメージがよく見えないという感じがします。	事業計画を実施していく上で計画改定検討会議で必要と判断した施策例を列挙しています。提示した内容は、今後設置する商工振興施策推進会議の中で具体的な検討を進めていきます。
	基本施策(千代田ブランドの向上)	「千代田ブランド」を育成し有効に活用していくためには、目指すブランドのコンセプトとブランドイメージの明確化とブランドコンセプトを裏付けるための認証基準の明確化が必要かと考えられます。また、「千代田ブランド」により付加価値と差別化の向上が担保されるような内容で、今後実行が可能で、期待効果が大きいものにその対象を限定していくことも必要かと考えます。	新たに検討会議を設置し、千代田区におけるブランド認証のあり方について検討していきます。ご意見を参考にさせていただきます。
区民	基本施策(観光施策の推進)	基本施策の「観光施策の推進」で提案されている事業内容は現状で取り組める範囲に留まっているものが多く見受けられます。千代田区の観光資源をみると、丸の内地区のようにビジネスとショッピングが融合したゾーンや、秋葉原地区のようにサブカルチャー発信の最前線ゾーンとして認知されている地域があります。また、神田神保町の本町通り、古書店、楽器店、スポーツ用品店、そして学生街のように、資源の有機的な組み合わせとプロモーションにより観光スポットとして大きな飛躍が期待できる地域もあれば、優位性を持ちにくい地域もあることから、それらの優先順位と千代田ブランドとの整合性をより明らかにしていくことが求められるかと思えます。	既存の観光資源の活用及び観光関連イベントの実施は行政と地域や企業・関係団体など様々な事業主体と連携を図りながら、住民にとっても事業者にとっても訪れる方々にとっても満足度の高いまちの実現を目指していきます。現状では地域間の優先度よりも千代田区全体の魅力を高めていくことに重点を置いて施策展開していくこととしています。ご意見にあるように観光を含んだ大きな視点でのまちづくりは、基本理念にあるコミュニティを大切に、魅力あるまちの創造に包含する最も重要な取り組みであり、目指すべきまちづくりであります。基本理念の実現に向けて、着実な施策展開に取り組んでまいります。
	基本施策(中小ビルの活性化)	基本施策の「中小ビルの活性化」で提案されている事業内容も現状で取り組める範囲に留まっている印象が拭えません。地域の価値を高めるために、より付加価値を生み出すテナントの誘致(=インテリジェンス化)と魅力ある街並み作りのためにファサードの調和感と街路樹の増加で、「訪れて良し、働いて良し、住んで良し」を実現し、観光を含んだ大きな視点でビジョンを提起されるのが望ましいと考えます。神田神保町、お茶の水から秋葉原に至るゾーンがパリのカルチェラタンのような、伝統・文化と観光が共存するようなゾーンが望まれます。安全で魅力ある都市として1日を過ごせるような街づくりを目指して千代田区として取り組んでいくというのは如何でしょうか	